

0 5 10 15 20

cm

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

inch

【インチとセンチメートルの目盛】 1 inch = 2.5 4 cm
インチは日常的にも使用されています。長さをインチでも測ってみましょう！

■島原高校へのアクセス



 長崎県立島原高等学校

〒855-0036 長崎県島原市城内2丁目1130番地
TEL.0957-63-7100 FAX.0957-63-7086
URL <http://www.shimabara-h.ed.jp/>

島原鉄道「島原駅」より 徒歩10分
島鉄バス「文化会館前」下車徒歩3分



オリジナルキャラクター
青楓くん・楓ちゃん



長崎県立
島原高等学校

学校案内 2019



喜びと感動

FROM HERE TO THE FUTURE
SHIMABARA SENIOR HIGH SCHOOL



119th
since 1900

島原高校



目次

01 校訓・沿革 02 学校長挨拶 03 普通科 05 理数科 07 部活動 09 学校行事 11 進路状況

文武両道

北村西望 書

学校スローガン

輝け★21世紀の旗手・青き楓たち

【旗手】スローガンに掲げる旗手とは、人の上に立つ人ではなく重い責任が伴っても敢えて先頭を歩く気概を持ち、自己の利益よりも全体の幸福を優先する自己犠牲の精神を大切にする人のこと。

目指すテーマ

徹底的文武両道主義 ～文中に武あり、武中に文あり～

校風

質実剛健 学究的で礼節を尊ぶ

「喜び」と「感動」のある学校づくりを行っています。

沿革

明治33年(1900) 長崎県立島原中学校開校
昭和 6年(1931) 校舎竣工
昭和23年(1948) 学制改革により長崎県立島原高等学校となる
平成13年(2001) 体育館並びに100周年記念会館(秋岳館)落成
平成15年(2003) 理数科設置
平成22年(2010) 創立110周年記念式典

アカデミックで礼節を重んじる校風。100年の時を越えても、島原高校に吹く伝統の風は変わりません。
昭和初期からそびえたつゴシック様式の校舎は、今もなお凛として誇り高き島高生を見守り続けています。



東京オリンピックが開催される2020年に創立120周年を迎えます

校長から皆さんへ



島高から未来へ

校長 渡邊 孝経

島高は、県内有数の伝統ある進学校です。明治33年の開校以来、「アカデミックで礼節を重んじる」校風と「質実剛健」の気風が、脈々と受け継がれています。

校是に掲げている「文武両道」とは、知識や学問の方法を学び、真理を究める鋭い知性を鍛え、しかも、スポーツや芸術などの部活動や行事、ボランティア活動等にも積極的に取り組むことです。これまでも「文武両道」を目指すことで、感性豊かで、たくましく、そして暖かい心と豊かな教養を持った真のリーダーを数多く輩出し、先輩たちはさまざまな世界で活躍をしています。

島高は一人ひとりを大切にする、「面倒見が良く」「個を伸ばす」教育を目指しています。そして、全ての教育活動に、「喜びと感動」を求めて取り組んでいます。

本校を志望する中学生の皆さん、未来に「夢」「志」を持ち、素晴らしい青春時代と一緒に歩み、新たな伝統を築いていきましょう。



文 系

— 国語・英語・地歴公民を重点的に学ぶコース —

主な進学分野

- ★ 文 学
- ★ 経済学
- ★ 語 学
- ★ 社会学
- ★ 史 学
- ★ 教育学（教職文系）
など



普通科

夢をかなえる2つのコース

※1年次は文系・理系に分かれずに総合的に学習します

理 系

— 数学・理科を重点的に学ぶコース —

主な進学分野

- ★ 理 学
- ★ 工 学
- ★ 農水産学
- ★ 教育学（教職理系）
- ★ 医療系
（医・歯・薬・看護・検査等）
など



文系の教育課程（平成31年度入学生）

1週間あたりの時間数

	1年	2年	3年	計	3年間の合計
国語	5	6	7	18	文系科目 56
地歴	4	4	4	12	
公民		2	4	6	
英語	6	7	7	20	
数学	6	6	5	17	理系科目 27
理科	2	4	4	10	
体育	3	3	2	8	
保健	1	1		2	
家庭	2			2	
芸術	2			2	
情報	2			2	
総合	1	1	1	3	
LHR	1	1	1	3	

理系の教育課程（平成31年度入学生）

1週間あたりの時間数

	1年	2年	3年	計	3年間の合計
国語	5	5	5	15	文系科目 45
地歴	4	3	3	10	
公民			2	2	
英語	6	6	6	18	
数学	6	7	6	19	理系科目 38
理科	2	8	9	19	
体育	3	3	2	8	
保健	1	1		2	
家庭	2			2	
芸術	2			2	
情報	2			2	
総合	1	1	1	3	
LHR	1	1	1	3	

先輩の声

経済の活性化を目指して！

私は、中学三年生の時から、南島原市を活性化させたいという強い希望を持っています。そのために、将来は四年制大学の経済学部に進学し、卒業後は地元に戻って来て地元のために力を尽くしたいと思います。今一番おもしろいのは、政治経済の授業です。世の中のしくみをもっともっと知りたい！という興味がわく、文系ならではの授業です。

H29年度入学生 増田 圭亮



（有家中出身）

日本語教師になりたい！

私は、中学生のころから英語が好きでしたが、まだそのころは、はっきりした目標はありませんでした。高校に入学してから「日本語教師になる！」という目標ができ、二年生では文系に進みました。これから、英語も国語もいっぱい学習して、将来は、日本語が話せなくて困っている日本在住の外国の子どもたちの手助けをしたいと思っています。

H29年度入学生 中村 優子



（北有馬中出身）

得意な数学で未来に！

私は数学がとても好きです！論理的で答えが一つに決まる明快さが気持ちいいからです。理数科も考えたのですが、まだ将来の夢がはっきり決まっていなかったので、一年間じっくり考えようと思って普通科に進学しました。結果的にそれがよかったと思います。今は、建築士や高校数学教師など、数学を生かした職業をいろいろ夢見ているところです。

H29年度入学生 福田 幸人



（第一中出身）

理学療法士になりたい！

私は、島原高校に入学してから理学療法士になりたいと思うようになり、理系に進みました。高校で一番好きな科目は生物です。生物で学んだことは頭にずっと入って来ると、身の回りのこと一つ一つと結びついていることがよくわかります。将来は人の体のことをよく知って、人の役に立つ理学療法士になりたいと思っています。

H29年度入学生 小林 真依



（有明中出身）



理数科

本物と出会い知的好奇心を育む



どんな人が理数科に行くの？

理科・数学をより深く学びたい人、理数的側面から物事を考える力を伸ばしたい人、研究やプレゼンテーションに必要な力をつけたい人には最適な環境です。卒業後は主に理学、工学、農水産学、医療系(医・歯・薬・看護・検査等)、食物学、教員養成(理系)等の分野に進み、高校・大学を通して培った力を社会に役立てたいと思う人を歓迎します。

普通科にない活動って？

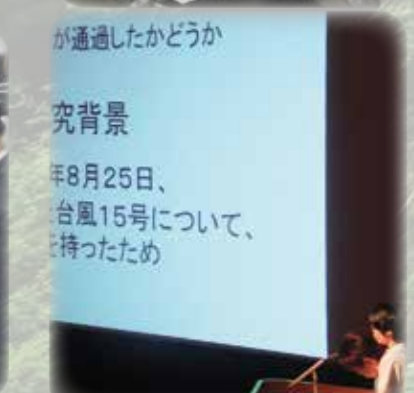
理数科では、地学講座や水質調査、研修旅行、大学研修などを通して、さまざまな「本物」に触れます。2年次には少人数の班でそれぞれ興味のあるテーマを決めて研究を行います。研究に必要な基本的な態度や知識技能を身につけ、ICT(情報通信技術)を駆使したプレゼンテーション能力を養います。こうした3年間の活動を通して、理系分野への進学に必要な力と、実際の活動体験を通してこそ得られる自信を育みます。

理系コースの教育課程(平成31年度入学生)

1週間あたりの時間数

	1年	2年	3年	計	3年間の合計
国語	5	5	5	15	文系科目 43
地歴	2	3	3	8	
公民			2	2	
英語	6	6	6	18	
数学	6	7	6	19	理系科目 41
理科	4	9	9	22	
体育	3	2	2	7	
保健	1	1		2	
家庭	2			2	
芸術	2			2	
情報	2			2	
総合	1	1 (課題研究)	1	3	
LHR	1	1	1	3	

魅力的な体験活動



先輩の声

迷っている方！断然理数科がお薦めです！

理数科の有家川実習や大学研修では、普段の学校生活では得られない体験ができ、楽しみながら知識を身につけることができます。課題研究では自分の興味のあることをとことん追求できるのも大きな魅力です。クラスメイトはよく、「何で中3の時に理数科と普通科で迷っていたのかわからない。理数科で良かった！」と話します。個性と笑いのあふれる教室で、仲間たちと充実した高校生活を送ってみませんか？

H29年度入学生 本多 未来



(第二中出身)

毎日が楽しい

理数科には普通科にはない多くの課外授業があります。様々な活動を通し、自分の視野を広げ、興味のあるものや将来の夢を発見できます。自分の意見を人に伝える能力も自然と身につけられると思います。

また、理数科には個性的な仲間がたくさんいるので、毎日が楽しく充実した日々を送っています。理数科に入って言えること。それは「理数科を選んで本当に良かった！」ということです。皆さんも理数科に入って「毎日が楽しい」ことを実感してみませんか？

H30年度入学生 小川 真由



(有家中出身)

進路実績

— 最近の難関大学への合格者数 —

東京大学	1名 (1)	医学科	4名 (4)
京都大学	1名 (1)	歯学科	2名 (2)
九州大学	11名 (19)	薬学科	2名 (2)
大阪大学	3名 (7)		

() 内は普通科を含めた全合格者数

国公立大学
合格率

70%

(理数科設立以降の平均)

ユースオリンピックアジア地区予選 池田 成諒 銀



100m決勝 10.69
2018.7 パンコク・タイ



「喜び」と「感動」が 島高にある！ ここ

先輩の声

バスの中も貴重な勉強時間です！

私は合唱部に所属していますが、普段は1日1時間という短い時間の中で、お互いに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。1年間で学んだことは、勉強するときは集中すること、睡眠時間をきちんと確保することです。早く寝て、翌日の授業に集中するために、私はすき間時間を利用するようになりました。課題はできるだけ学校で終わらせ、バスの中の移動時間はその日の復習や、英単語の暗記にあてるようにしています。進路実現に向けて、これからも頑張ります。



合唱部

(口之津中出身) H29 年度入学生 氏原 真子

文武両道の秘訣は楽しむこと！

弓道と勉強を両立させるために、「何事も楽しむ」ことを心がけています。部活動では毎日練習を積み重ね、精神・技術・肉体を鍛えています。勉強でも手を抜くことはできません。時間は限られているので、ONとOFFの切り替えが大事です。勉強をするときは集中して勉強を楽しみ、部活動では精一杯部活動を楽しむ。そして休憩の時には、自分が好きなことを思いっきり羽を伸ばすようにしています。楽しむことこそ文武両道の原動力です。



弓道部

H29 年度入学生 山崎 康成 (第一中出身)

第47回 魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会
第34回 魁星旗争奪全国高校女子剣道大会

全国・制覇 剣道部男子



体育部

バスケットボール バレーボール
弓道 剣道 サッカー レスリング
野球 ソフトテニス テニス
陸上競技 体操 ラグビー

文化部

応援 図書 新聞 放送 語学
茶道 ボランティア 文芸
合唱 管弦楽 美術 写真
理学

H30 年度 第70 回高総体

- 陸上競技男子
 - 100m 優勝・第3位(インターハイ・北九州大会出場)
 - 200m 優勝・第3位(インターハイ・北九州大会出場)
 - 4×100mリレー第2位(北九州大会出場)
- 陸上競技女子
 - 棒高跳 2名(北九州大会出場)
- 剣道男子
 - 個人 優勝(インターハイ出場)
 - 第3位(九州大会出場)
 - 団体優勝(インターハイ・九州大会出場)
- 剣道女子
 - 個人 優勝(インターハイ出場)
 - 第3位・ベスト8(九州大会出場)
 - 団体優勝(インターハイ・九州大会出場)
- 弓道男女
 - 個人 第2位(インターハイ・九州大会出場)
 - 4名(九州大会出場)
- レスリング
 - 個人優勝8名(インターハイ・九州大会出場)
 - 個人4名(九州大会出場)
 - 団体優勝(インターハイ・九州大会出場)
- 体操
 - 団体 第3位(九州大会出場)
 - 個人 1名(九州大会出場)

H29 年度 実績

- 剣道部男子
 - 県高等学校総合体育大会
 - 団体 優勝 個人 優勝
 - 全九州高等学校体育大会
 - 団体 第3位 個人 優勝
 - 全国高等学校総合体育大会
 - 団体 準優勝
 - 全国選抜
 - 準優勝
 - 魁星旗争奪全国高校剣道大会
 - 団体 優勝
- 剣道部女子
 - 県高等学校総合体育大会
 - 団体 優勝 個人 第3位
 - 全国高等学校総合体育大会
 - 団体 ベスト8
 - 魁星旗争奪全国高等学校剣道大会
 - 団体 ベスト8
 - 全国選抜
 - ベスト8
- レスリング部
 - 県高等学校総合体育大会
 - 団体 優勝 個人 優勝
 - 全九州高等学校体育大会
 - 個人 優勝 準優勝
 - 全国高等学校総合体育大会
 - 個人 第3位
 - 全九州高等学校新人選手権大会
 - 個人 優勝 準優勝 第3位
- 体操部
 - 県高等学校総合体育大会
 - 団体 第3位
- 陸上競技部
 - 県高等学校新人体育大会
 - 女子棒高跳 優勝 準優勝
 - 男子5000m 第3位
 - 男子200m 準優勝
 - 国民体育大会 県予選
 - 男子5000m 優勝
 - 男子100m 優勝 準優勝
 - 女子棒高跳 準優勝 第3位
- 弓道部女子
 - 県高等学校総合体育大会
 - 団体 準優勝
- 放送部
 - NHK杯全国高校放送コンテスト県大会
 - テレビドキュメント部門 優秀賞
 - 創作テレビドラマ部門 優秀賞
- 合唱部
 - 九州合唱コンクール県予選 銀賞
 - 県高等学校音楽コンクール
 - 金賞 1名 銀賞 3名
- 美術部
 - 県高等学校総合文化祭美術部門
 - 優秀賞 1名 優良賞 5名
 - 九州高等学校文化連盟賞
- 囲碁愛好会
 - 全国高等学校総合文化祭
 - 個人 第6位
 - 文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権
 - 個人 第3位





入学式・始業式
1年生研修合宿
歓迎遠足

4月



1年生中間考査
生徒総会

5月



県高校総合体育大会
文理コース説明会（1年）
常任委員長選挙
1学期末考査

6月



校内球技大会
三者面談

7月

学習合宿（3年）
インターハイ
海外研修（2年希望者）

8月

2学期始業式
青楓祭（体育祭・文化祭）
進路講演会

9月

10月

2学期中間考査
芸術鑑賞会
大学入試センター 100 日前集会
高大連携事業

11月

創立記念日
島高青楓塾
2学期末考査

12月

修学旅行（2年）
乳幼児ふれあい体験（1年）
三者面談

1月

3学期始業式
大学入試センター試験
マラソン大会・健脚大会

2月

学年末考査
国立大学前期試験

3月

卒業証書授与式
終業式
卒業生合格体験談



夢が見つかる
未来へ向かって成長できる
大きく輝く3年間



過去3年間の 合格状況

主な 進学先

区 分	27年度卒	28年度卒	29年度卒
国立大学	85	80	92
公立大学	21	29	19
私立大学	215	181	234
準大学	2	3	1
国公立短大	0	0	0
私立短大	9	10	3
医療系専門学校	20	19	21
各種学校	15	11	12



帯広畜産、秋田、筑波、宇都
大阪、京都工芸繊維、神戸、広島、
福岡教育、佐賀(医学部を含む)、長崎
鹿児島、鹿屋体育、都留文科、大
岡山県立、山口東京理科、山口県立、
熊本県立、早稲田、法政、明治、東
関西、関西学院、西南学院、中村学
崇城、熊本保健科学

宮、群馬、千葉、横浜国立、愛知教育、
山口、高知、九州、九州工業、
(医学部を含む)、熊本、大分、宮崎、
阪府立、大阪市立、鳥取環境、
高知工科、北九州市立、長崎県立、
京女子、国学院、同志社、立命館、
園、福岡、活水女子、長崎、純心、

島原高校が掲げる「文武両道」

この校是のもと、全校生徒が日々切磋琢磨し合いながら、夢の実現に向け頑張っています。学習ではもちろんのこと、質の良い学習を目指し、部活動においてもそれぞれの目標を目指し、全力で取り組んでいます。

また、島原高校は行事の凄さも他の高校に劣っていません。青楓祭体育祭では一団、一団が結束し、素晴らしい応援や白熱した競技を見せてくれます。

そして、礼儀やマナーといった面においても、一人一人が分別のある行動をとっています。

どこの高校に進もうか迷っている皆さん!

ぜひ、島原高校を選んでみてください。

きっと充実した三年間が送れるはずです!



生徒会長 島崎健太
(瑞穂中出身)

・受験は不安や苦痛が多く大変ですが、私たちをひと回りもふた回りも成長させてくれます。その努力は決して無駄になりません。諦めずに努力し続けられれば、必ず良い結果となってみなさんに返ってきます。

・「継続は力なり」といいますが、これほど受験勉強にぴったりくる言葉はありません。身についた力は皆さんの合格への道を切り拓いていくでしょう。

・自分の夢をはっきりともつことが一番大事だと思います。受験勉強を諦めそうになった時も、夢があれば、それに向かって「今、何をすべきか」が見えてくるはずです。そして、いつも私たちのことを考え、熱心に指導して下さる先生方、切磋琢磨し合える仲間、いつも見守ってくれる家族への感謝の気持ちを忘れず、夢への道を突き進んで下さい。



卒業生の声

・私が大学受験を乗り越えることができたのは、先生方や仲間の存在があったからこそです。休み時間や放課後に勉強する仲間、自分の悩みを打ち明け、聞いてくれる仲間は大きな存在でした。大学受験を共に闘ってきた仲間は一生の宝になると思います。

・プレッシャーの中、正直投げ出したいと思うときもありました。そんな時、私を励ましてくれた仲間のおかげでモチベーションを保つことができ、最後まで頑張りが続けたことができました。「仲間」の存在は偉大です。「受験は団体戦」という言葉がありますが、本当にその通りだと思います。気持ちが折れそうになったら励ましあいながら仲間と最後まで頑張りが続けてください。

・面倒くさいことから逃げないでください。大学受験をする中で、コツコツと一つずつやり遂げることが大切だということを知った3年間でした。

私は、この海外研修旅行に参加し、オーストラリアのホストファミリーと過ごすことで、たくさんのことを学び、自分の英語力の無さを痛感しました。オーストラリアに行く前は、不安もあったけれどジェスチャーで伝えればなんとかなるだろうと思っていました。ですが、先生やみんなと別れて、いざホストファミリーと話したところ、英語が全然出てこなくてジェスチャーどころじゃありませんでした。文法も出てこなくて、ただ単語を並べているだけの会話だったのが一番ショックでした。その時に、オーストラリアの人の優しさに触れることができました。私のただ単語を並べただけの話を理解してくれようとして、私に対してゆっくりと簡単な英語で話してくれて、少し気持ちも落ち着き、心が温くなりました。

この海外研修旅行で私は、コミュニケーション力、表現力、積極性の必要さを学び、相手や他人への思いやりや優しさを実感し、英語だけの生活の中での精神面も鍛えることができました。私は、本場の英語に触れて、そこでしか得られないものを得ることができたと思います。これを機に、英語への意欲が高まったので、これからはもっともっと英語力がつくように勉強し、将来のために頑張りたいです。

太田 ころろ



海外 研修

僕はこのオーストラリア研修旅行で多くのことに気づき、学ぶことができました。日本語が通じないこと、自分の意志を相手に伝えるには、自分から伝えようとしないので積極的に話すことを意識して過ごしました。学校の授業で学ぶ文法や単語は現地でも非常に役に立ちました。しかし、実際行くと気が付いたのはリスニング力の低さです。学校でもリスニングの練習はしていましたが、日本人の先生だったり、話すスピードが違ったりと、ネイティブスピーカーとの差を感じました。ホストファミリーと過ごす5日間のうちの1日目は何度か聞き返さないと相手が何を言っているのか理解できませんでした。しかし、数日英語だけの環境にいと、耳が慣れてきて少しずつ聞き取れるようになってきました。すると、会話がスムーズになり、家族の人とも少しずつ仲良くなり、会話が弾みました。

6日間オーストラリアにいて、自分は日本のことをあまりよく分かっていないと思いました。「日本ではどうなの?」と何度か聞かれましたが、自信を持ってこうだという風には答えられませんでした。もし、次に海外に行く機会があったら、日本のことをしっかり勉強し、また英語ももっと勉強し、今回よりも充実したものになるようにしたいです。このことに高校生の段階で気付くことができたのは先生方や費用を出してくれた親のおかげなので、しっかりと感謝の気持ちを伝えたいです。

板倉 永和



島高でしかできない学びがある
FROM HERE TO THE FUTURE
SHIMABARA SENIOR HIGH SCHOOL

